

# 令和3年度 学校運営連絡協議会実施報告書

## 1 組織

- (1) 都立蔵前工業高等学校 学校運営連絡協議会 (定時制課程)
- (2) 事務局の構成 主幹教諭(教務主任兼務)=事務局長、生活指導主任、進路指導主任 計3名
- (3) 内部委員の構成  
副校長、経営企画室長、主幹教諭(教務担当)、生活指導主任、進路指導主任 計5名
- (4) 協議委員の構成  
町会長、民生委員、警察署員、公共職業安定所職員、幼稚園長、同窓会副会長 計6名

## 2 令和3年度学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会 (第1～3回) の開催日時、出席者、内容、その他

第1回 令和3年7月

新型コロナウイルス感染症対策により文書開催を6月に通知、7月に文書送付

第2回 令和3年11月25日(木) 集合開催

(出席者) 外部委員: 町会長、民生員、同窓会、警察、職業安定所、幼稚園長

内部委員: 副校長、経営企画室長、教務部・生活指導部・進路指導部各主任

(内 容)

校長挨拶、委員の自己紹介、学校の近況報告(経営企画室、教務部、生活指導部、進路指導部、防災教育研究指定校に伴う防災訓練の報告及び研究について、学校評価アンケートの変更点及び説明、意見交換、その他)

第3回 令和4年3月 新型コロナウイルス感染症対策により書面開催

(書面概要)

校長挨拶、本校の現状報告(経営企画室、教務部、生活指導部、進路指導部)、学校評価アンケート結果について、協議委員による学校評価、事務連絡

※協議委員からの意見、学校評価については郵送で受領

※資料等における質問等無し

- (2) 評価委員会の開催日時、出席者、内容、その他

第1回 令和3年11月25日(木) 集合開催

(出席者) 外部委員: 町会長、民生員、同窓会、警察、職業安定所、幼稚園長

内部委員: 副校長、経営企画室長、教務部・生活指導部・進路指導部各主任

(概 要)

学校評価アンケートの基本方針の確認、今年度の学校評価の実施に向けた検討等

第2回 令和3年3月

(書面開催)

学校評価アンケート集計結果の分析・考察、課題の整理

## 3 学校運営連絡協議会による学校評価

- (1) 学校評価の観点

学校の意欲、学校への理解、学校の実践等の観点で実施する。

- (2) アンケート調査の実施時期・対象・規模

・12月	全校生徒	対象: 18人	回収: 18人	回収率: 100%
・12月、1月	保護者全員	対象: 18人	回収: 8人	回収率: 44%
・12月	教職員	対象: 15人	回収: 15人	回収率: 100%
・12月	地域住民	対象: **人	回収: 16人	回収率: **%

- (3) 主な評価項目  
学校生活、授業、技術修得、部活動、資格取得、進路指導、ルール・マナー、いじめ・差別、体罰、特別活動、学校行事、感染症対策、オンライン授業、生徒会活動、給食、地域参加、施設・設備、ライフワークバランス、安全教育等
- (4) 評価結果の概要
  - ・新型コロナウイルス感染症対策により、保護者や地域の方の校内立ち入りを制限したことや、学校行事や部活動については、中止又は延期で、保護者アンケートでは、25項目中8項目について、「あてはまらない」、「わからない」の回答が4割から6割となっている。
  - ・読書活動や生徒会活動、地域との交流等、生徒、教職員、保護者ともに十分ではないとする回答が多い項目もあった。
- (5) 評価結果の分析・考察（校長や学校全般への意見・提言）
  - ・読書、図書館利用等活字離れが進んでいる。書籍の持つ魅力を発信した方が良い。
  - ・コロナ禍で地域交流は難しい状況であるが、地域の歴史を知る機会を持たせ、地域への関心を高める必要がある。
  - ・部活動の活性化は、生徒数が少ないことから、難しいと思われる。
  - ・学校生活、知識・技能、授業のわかりやすさ、資格取得については、十分な結果が出ていると思われる。また、いじめや体罰など生徒と教員の関係も良好である。

#### 4 学校運営連絡協議会の成果と課題

- (1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果
  - ・授業に関する生徒の回答は、「あてはまる」「ややあてはまる」が全体の9割以上である。
  - ・新型コロナウイルス感染症対策の観点から、集合形式の協議会は1回のみで開催となったが、協議委員からは、多数意見が出され、相互理解を深めることができた。
- (2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題
  - ・協議委員からの意見を通じて、地域、同窓会からは本校への期待とともに地域との連携がより一層必要であることがわかった。
  - ・コロナ禍にあっても、学校行事に工夫を加え行ったことについては、評価されたが、感染症対策のため、地域連携による外部講師の派遣が十分に行えず教育活動の内容が外部に伝わりにくかった。

#### 5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項

- (1) 学校運営
  - ・協議委員からの提言、学校評価アンケートから課題を分析し、解決に向け組織的・計画的に取り組む。
  - ・「学校の情報発信」を促進するため、ホームページの充実、蔵工通信「希望の灯火」の継続、広報活動を強化する。
- (2) 学習指導
  - ・高校段階の1人1台端末導入に向け、ICT機器の活用やオンライン授業の改善を進める。
- (3) 特別活動
  - ・部活動加入率の向上、学校行事の活性化により、学校生活の満足度を向上させる。
- (4) 生活指導
  - ・授業規律の確立、SNS学校ルールの徹底等により、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、安全で落ち着いた学習環境を整備する。また、生徒の健康観察は電子申請に変更した。
- (5) 進路指導
  - ・本校で学んだ建築、設備関係の知識、技能を活かせる進路指導を継続していく。

#### 6 「学校がよくなった」と考える協議委員の割合

- (1) 協議委員人数 6人
- (2) 学校がよくなったと答えた協議委員の人数 6人

そう思う	多少そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	無回答
4	2					

7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績

- ・職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加なし

8 その他

- ・保護者アンケートの回収については、44%と前年度より29ポイント上回った。しかし、保護者の4割の回答に留まっており、アンケート回収率の向上が課題である。前々年度の、郵送によるアンケートの回収率が78%であったので、次年度は、郵送を検討する。
- ・コロナ禍において、オンライン会議が主流となりつつあるが、学校運営連絡協議会への導入は、難しい状況である。
- ・地域アンケートについては、ほぼ全項目において、「わからない」「あまり知らない」が5割以上を占めている。学校の広報活動については、「わからない」「あまり知らない」が8割以上であり、学校からの情報発信方法について検討が必要である。